

きずな



北九州市立折尾西小学校

学校だより 7月号②

令和2年7月28日(火)

校長 成重純一

個人懇談会へのご参加ありがとうございました

本年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、家庭訪問も学習参観もできていません。担任と顔を合わせる機会がなかったために、保護者の皆様は、学級通信や連絡帳などでしか担任とつながることができず、不安が大きかったと思います。今回の個人懇談会は、これまでとは違って、学校でのお子さんの様子を伝えるだけでなく、保護者の皆様とのつながりをつくる重要な意味があったと考えています。お忙しい中、時間をとっていただき、ありがとうございました。

夏休みまで、残り一週間余りとなりました。学校でも体調管理に気を付けさせます。ご協力よろしくお願いたします。

貴重な外遊びを楽しむ子どもたち

梅雨明けが平年より大幅に遅れています。本校では、運動場に水たまりがあって遊ぶことができない場合には、国旗掲揚台の近くにある黄色のパトロールランプが回ります。子どもたちは、梅雨の多くの日々、この回転するランプを恨めしく見て過ごしてきました。その分、ランプが回転しない日は、夢中で遊んでいました。もちろん、マスク着用の上ですが。1年生の輪の中に入って遊ぶ6年生の姿も見られました。つながりのつukれない現在、感染防止の約束を守りながら、つながろうとする子どもたち。体育科の学習や外遊びは、体力向上よりも「心の健康」という意味が大きくなっていると感じています。



水の事故にご注意を

本年度は、プールを使った学習ができませんでした。毎年、夏休みは、水の事故が増えます。子どもたちには、プールとは異なる川や海の怖さを教えておく必要があります。

具体的には、次のようなことです。「水が透明ではなく、水深もプールより深いところがほとんどであるため、水中の様子が見えない。」「底が平らではないため、急に深くなることもある。」「いろいろな物を捨てていく人がいるため、ガラスや尖った金属を踏むことがある。」「川には流れがあり、海には波がある。それらには、抵抗できないほどの力がある。」「人工的に作ったため池は、すり鉢型の構造であるため、一度落ちると何かをつかんで這い上がる場所がない。」



子どもだけでそういった場所に行ってはいけない理由は、上記のような知識が子どもに少ないからということと、知識をもっている、実際に活用できないおそれがあるからということです。責任のある大人が同伴する意味をご家庭でもお子様に説明してください。